



震災復興支援
活動情報

Vol.15

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方のサポート、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、8月22日～9月7日に受けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター 電話: 022-212-3010

9月20日(火)



てつがくカフェ@せんだい

〈支援〉とはなにか? を考える

「いま、自分にできることをやる!」「いま、わたしにできることは何なのか」…多くの方が、震災以降このような〈呪文〉にも似た言葉を社会のいたるところで耳にし、あるいは自分自身で発言してきたのではないのでしょうか。今回の「考えるテーブル てつがくカフェ」では、震災直後から〈支援〉の意味について考え、災害ボランティアナースとして石巻などで積極的に〈支援〉活動を行ってこられた看護師の鳴海幸さん(全国訪問ボランティアナースの会キャンパス仙台中央代表)をお招きし、具体的な〈支援〉活動のなかで感じられたことをお聞きしながら、〈支援〉を考えるうえで重要なキーワードを粘り強く手繰り寄せ、参加者の皆さんとともに〈支援〉の意味についてあらためて考えてみたいと思います。

●内容/てつがくカフェは、私たちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん身を引き離し、「そもそもそれって何なのか」といった問いを投げかけ、ゆっくりお茶を飲みながら「対話」とおして自分自身の考えを遅くすることの難しさや楽しさを体験していただくというものです。

◎第3回てつがくカフェ～〈支援〉とはなにか?～

日時: 9月25日(日) 16:00～18:00 / 場所: せんだいメディアテーク1階オープンスクエア / 参加費無料(事前申込み不要、直接会場へ)

●連絡先

てつがくカフェ@せんだい

E-mail: tanishi@hss.tbgu.ac.jp(西村)

ウェブサイト: <http://tetsugaku.masa-mune.jp/>



市民メディア全国交流集会「番外編」イン仙台実行委員会

フォーラム「被災地・被災者からの発信～市民メディアは立ち上がる～」の開催

東日本大震災時において、現地から送り続けたメッセージとは何か、市民や地域住民などがどんなメディアを使い被災地・被災者に寄り添った情報発信の取組みを行っていたかを報告・発表。メディアと地域住民との間をつなぐ情報発信のあり方や可能性を探ります。

◎プログラム / 10:30～12:00 出展企画: さまざまな取組みの活動報告・発表 / 13:00～14:30 基調講演: 津田喜章(NHK 仙台放送局アナウンサー) 講演タイトル「被災地からの声」 / 14:45～18:00 パネルディスカッション / 終了後、懇談会、交流会があります。

●内容/「被災地・被災者からの発信～市民メディアは立ち上がる～」◎日時: 9月24日(土) 10:30～18:00 / 場所: せんだいメディアテーク1階オープンスクエア / 入場無料 / 定員100人 / 事前申込制(申込みはWEBサイトよりどなたでも申し込みできます)

●連絡先

市民メディア全国交流集会「番外編」イン仙台実行委員会

TEL&FAX: 022(795)4387(関本)

E-mail: s-eitaro@media.is.tohoku.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.citizenmedia-sendai.com/>



仙台心のケア研究会

こころ

大震災後の心のケア「仙台ピアカウンセリングの集い」第1回を開催します

大震災であなたの心は折れそうになっていませんか？自分が悪かったと自分を責め過ぎていませんか？自分は何も出来ないと感じていませんか？こんな時だからこそ話し合える仲間が必要なんです！仲間と経験と力と希望を分かち合い、共に勇気を持って力強く新しい人生（回復と生活の再建）に出発しませんか？ひたすら体験を語りまた、聴くことを通して“精神疾患からの回復”を目指す自助グループの集いです。仲間からサポートされていると感じる場に居ることで、効果的に援助し合ったり、悩みの解決につながったり出来ます。定員10名の予約制です。お電話お待ちしております。

●内容／10月の例会は、精神障害者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み悩んでいる方及び家族の方に限定したクロード方式です。下記連絡先まで、電話またはEメールでお申込ください。◎日時：10月9日(日)14:00～16:00／会場：仙台市福祉プラザ・3階託児室(仙台市青葉区五橋2-12-2)／参加費：無料 ◎なお、医療、福祉関係者、ボランティア及び福祉に関心を寄せる一般の方を対象としたオープン方式の例会は11月13日(日)に予定しています。

●連絡先

代表者 事務局 吉村 TEL:080(3328)7186
E-mail:qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp



環境

六ラブ市民サミット緊急企画実行委員会

講演会「原発のない社会へ！踏み出そう東北～福島、六ヶ所を語る」

東京電力福島第一原発の事故により、私たちの住む東北地方は放射能に汚染されてしまいました。「原発も核燃サイクルもいらない!」という声が、これまで無関心だった人達も含め広範な広がりを見せています。このうねりをさらに広げ、これ以上私たちの故郷を汚さないために、緊急の講演会を企画しました。講師は、チェルノブイリなど核問題と中東問題を中心に長年取材を重ねるフォト・ジャーナリスト、「DAYS JAPAN」編集長の広河隆一さん、「三陸の海を放射能から守る岩手の会」世話人の永田文夫さんのお二人です。ぜひ多くのおみなさま、とりわけ若い方々をご参加くださるようお待ちしております。

●内容／講師のお話を聞きながら、共に考え、行動していく機会にしたいと考えています。予約申込は下記連絡先へ。◎日時：10月2日(日)12時開場、12時半開始～17時頃まで／会場：仙台弁護士会館4階大ホール(仙台市青葉区一番町2-9-18)／定員約300人／参加費：前売り・予約1000円、当日1500円、大学生以下無料(要予約)※託児はありません

●連絡先

担当 たてわき
E-mail:hag07314@nifty.ne.jp
FAX:022(302)3284
TEL:090(8819)9920(夜20時以降連絡可能)



支援

災害支援ボランティア「チーム夢」

福岡から東日本復興へ顔の見える継続的な支援を行っています

●内容／福岡県福岡市に本部を置く東日本復興支援で協力し合う組織や個人の集合体です。被災地への瓦礫撤去、被災家屋や道路、墓地の清掃、溝さらいなどのボランティア派遣や被災地の小学生を招いたサマーキャンプの実施などを行っています。9月8日・9日には心のケアにと、「親愛なるきみへ」の公開前試写会を開催しました。

●連絡先

代表者 吉永 恵介
TEL:03(3268)8113 FAX:03(3235)3652
連絡可能な時間帯 9:30～24:00(代理連絡者 山中 誠)
E-mail:YAMANAKA@musashino-ad.co.jp
ウェブサイト:http://www.teamdream2011.com/



環境

NPO法人自然農食みやぎ

住宅の塩害支援・ におい消しで活動しています

●内容／自然農法・自然食の普及に努めている団体です。震災後、被災地の石巻市や名取市、亶理町浜吉田地区住宅等で、EM菌を使用した塩害支援を行ないました。私たちは、耕作放棄地を市民に開放してもらい家族とともに週末農園に親しみ、安全な農作物を出来るだけ自給し健康な農的生活を支援する活動も行っていきます。

●連絡先

代表者 鈴木 徹
TEL:022(297)1692 FAX:022(297)1692
E-mail:wings.emnet@jcom.home.ne.jp
ウェブサイト:http://snsmiyagi.com/



みやぎ子どもの文化を支援する会

子どもたちの笑顔を取り戻すため、息の長い支援活動を行います

震災で深い悲しみや苦しみ、心の痛手を受けた子どもたちに、心からの笑顔を取り戻してほしいと願って、児童文化の面から支援活動を広めていくことをめざした活動を行っています。参加団体は、県内で子どもに関わる活動を進めてきたグループです。支援を求められる子ども関連施設からのお申し込みをお待ちしています。

◎参加団体:みやぎ親子読書をすすめる会/仙台にもつと図書館をつくる会/みやぎ民話の会/仙台手をつなぐ文庫の会/紙芝居文化の会みやぎ 子どもの本の店ポラン/語り手たちの会・みやぎ/宮城県立保育専門学院同窓会早苗会/おてんとさんの会

●内容/◎被災地の保育所、幼稚園、児童館など子ども関連施設を訪問し、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすこと(1)絵本や紙芝居、おはなし、パネルシアターなど、おはなし会の実施(2)人形劇公演(早苗会劇団21)(3)昔話などの語りなど ◎支援物資を贈ること(施設の要望により、絵本、紙芝居、紙芝居の舞台、おもちゃ、保育用備品など) ◎義援金を届けることなど

●連絡先

代表者 酒井 文子 TEL&FAX:022(228)1776
事務局 伊藤 俊子 TEL&FAX:022(243)1271
E-mail:toito@ve.cat-v.ne.jp



アートリバイバルコネクション東北(ARC>T<あるくと>)

文化をとおして東北の復興を応援

東日本大震災を機に失われた文化・芸術に関するひと・まち・場の再生と、東北復興に向けた諸活動にアートを通じて寄与し、また、それに必要なネットワークづくりを推進する活動を行なっています。これまで避難所や学校などで必要とされる文化的ニーズを調査し、収集した情報をもとに、知的障がい者施設でダンスやアートを一緒に楽しむほか、FMラジオ局での絵本の読み語り、沿岸部の子どもたちへ向けた演劇の巡回公演など、要望に応じてアーティストのスキルをお届けしてきました。これからも、まちやひとが少しでも元気になるよう、アートを通じてお役に立ちたいと願っています。

●内容/誰でもできるからだをゆるめるコツ/ゲームで楽しむコミュニケーション/はじめての演劇体験/大人の図工&子どものアート/子どものための絵本の読み聞かせ/昔なつかし紙芝居/大人のための朗読劇/いろいろなおどり(日本のおどり、タイのおどり、新しいおどり)/ミニコンサート/大工仕事/話し相手/遊び相手/リラクゼーション/イベントの企画相談など

●連絡先

代表者 樋渡 宏嗣
TEL:080(1667)3105 (担当 鈴木)
E-mail:info@arct.jp
ウェブサイト:http://arct.jp/



「3月11日からの家」製作委員会

映画の製作と上映を通して被災地の復興の力へ

●内容/震災という困難にぶつかっても決して諦めずに立ち上がっていく人々の姿を描いた「3月11日からの家」を自主製作し、被災地での上映で被災者の方々に元気になっていただくとともに、上映で得た収入を全て義援金として寄付しようと考えています。監督/高橋仁也、脚本/鎌田有恒。詳しくは、下記ブログをご覧ください。

●連絡先

代表者 高橋 仁也
E-mail:311.myhome@gmail.com
ウェブサイト:http://s.ameblo.jp/311myhome



宮城県地域連合労働組合

「職」と「食」の支援

●内容/被災地での非正規雇用者の労働問題を解決するために、相談会や学習会を開催しています。そのほか、亘理町と仙台市の仮設住宅で支援物資の提供と炊き出しをこれまで12回行ってきました。今後も地元の漁民、農民、労働者、自治体労働者と連携し、共に生きぬくための支援を行っていきます。

●連絡先

代表者 富山 哲夫
TEL:080(1668)4980 連絡可能な時間帯 9:00~18:00
※「サボセンかわら版vol.12(8月20日(土)発行)」の電話番号の記載に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。



(社)宮城県シルバー人材センター連合会

55歳以上の方の雇用・就業や社会参加を応援します

県内各地で再就職や社会参加に役立つ就業支援セミナーと、ワークショップ講座等を開催しています。10月の就業支援セミナーは、4日「NPO法人生活習慣改善センター」理事長富澤伊勢雄氏の「シニア健康講座」、18日は「NPO法人日本脳トレーニング協会」理事長佐藤利通氏の「脳トレ塾入門」です。また、両日ともキャリアカウンセラー川尻政勝氏が「生活プランの作成」を講話します。雇用・就業や社会参加を考えている方ならどなたでも参加できます。充実したセカンドライフに向けて、人生選択の幅を広げてみたい方、地域を支える活動を始めてみたいとお考えの方はぜひご参加ください。

●内容/10月就業支援セミナー

◎日時:10月4日(火)10:00~15:00/場所:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール ◎日時:10月18日(火)10:00~15:00/場所:仙台市市民活動サポートセンター セミナーホールいずれも、55歳以上の方が対象。受講料無料ですが、事前のお申込みが必要です。

●連絡先

〒980-0014
仙台市青葉区本町1-13-19 クリスタルパレス第2本町ビル
TEL:022(797)8035 FAX:022(712)8856
連絡可能な時間帯 平日9:00~17:00(担当 中村)
ウェブサイト:<http://www.sjc.ne.jp/miyagisc/index.html>



東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター・震災復興研究センター

シンポジウム「東日本大震災からの地域経済復興への提言」の開催

地域イノベーション研究センターでは、震災直後の4月、震災復興研究センターを設置し、東北地域の諸大学、地方公共団体、民間企業などと連携し「地域産業復興調査研究プロジェクト」をスタートさせました。今回開催するシンポジウムでは、これまで半年間の調査研究の成果を発表すると同時に、被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか、今後の地域産業復興に向けた政策的課題に関する活発な議論の場にしたいと考えています。参加者の皆様と一緒にこれからの東北地域の未来を考える機会にしていきたいと思います。

●内容/地域産業復興調査研究シンポジウム

◎日時:10月1日(土)13:00~17:50/場所:東北大学経済学部第3講義室(川内南キャンパス)/入場無料/申込み切り9月28日

●連絡先

東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター
〒980-8577仙台市青葉区片平2-1-1
エクステンション教育研究棟6階
TEL:022(217)6265 FAX:022(217)6266
E-mail: sympo2011@econ.tohoku.ac.jp
ウェブサイト: <http://www.econ.tohoku.ac.jp/rirc/>

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧いただきありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日: 2011年9月20日
編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかしプラス」
デザイン: 氏家朗

